

(記載例)

コメント[N0]:添付書類

- (1) 行為地を示した縮尺5万分の1以上の位置図
  - (2) 行為地及びその付近の状況を明らかにした縮尺5,000分の1以上の地形図及び現況写真
  - (3) 行為の施行方法を明らかにした縮尺1,000分の1以上の平面図、立面図、断面図、構造図、意匠配色図及び給排水計画図のうち知事が必要と認めるもの
  - (4) 工事の施工を要する場合にあつては、木竹の伐採、修景のための植栽その他当該工事に附随する工事の内容を明らかにした書類及び縮尺1,000分の1以上の図面
- ※ 仮設工作物については、撤去日までの計画書

[N1]

(様式第1号) (第3条関係)  
(工作物の場合)

コメント[N1]: 申請様式は、行為の内容によって変わるため、確認する必要がある。

[N2]

長野県立自然公園特別地域内行為許可申請書 [工作物の新築  
改築、増築]

コメント[N2]: 不要な文字は削除する。

[N3]

平成X年 Y月 Z日

コメント[N3]: 許可までに事務処理期間として、通常3~4週間かかるため、急ぎの場合は協議する必要がある。

長野県知事 殿

申請者の住所及び氏名 (法人にあつては、主たる  
事務所の所在地及び名称  
並びに代表者の氏名) 印

[N4]

長野県立自然公園条例第8条第1項の規定により、御岳 県立自然公園特別地域内において次の行為を行うことを許可してください。

コメント[N4]: 行為地が所在する公園名を記入する。  
例) 木曾管内 御岳 中央アルプス

[N5]

目的	ペンション〇〇の敷地内において、物置のための小屋を新築したい	
行為地	県 市郡 町村 大字 小字 地番	地 目
	長野県木曾郡〇〇町△△A丁目B番地C号 宅地	
工作物の種類	物置小屋、土台	
[N6] 施行方法	敷地面積	0.309 m <sup>2</sup> (奥行 0.515 m×幅 0.6 m)
	規模	外寸高さ 903 mm、外寸奥行き 515 mm、 外寸幅 600 mm
	構造	全面棚タイプ 内寸 W595×D456×H777 (mm)
	様式	メーカー: ●●● 商品名: ■■ (別添カタログのとおり)
	主要材料	小屋部: ステンレス 土台部: コンクリート
	外部の色彩	本体色: 灰色 扉色: こげ茶色
予定期日	仕様の概要	床耐荷重: 500kg/m <sup>2</sup> 耐雪強度: 120kg/m <sup>2</sup>
	[N7] 着手	平成X年 (Y+1) 月 Z日 予定 (許可日以降)
	[N8] 完了	平成X年 (Y+1) 月 (Z+1) 日 予定
備考	<input type="checkbox"/> 関係行政庁との協議 <input checked="" type="checkbox"/> 長野県木曾地方事務所林務課: 保安林内作業許可申請書手続 <input checked="" type="checkbox"/> 木曾森林管理署: 特段の手続きは必要ないと回答 <input type="checkbox"/> 付随工事の土地形状変更行為も併せて申請します。	

コメント[N5]: 行為の目的及び必要性がわかるように記入する。

コメント[N6]: 行為の内容を具体的に記入する。別紙で説明が可能であれば、欄内には別紙に記載のとおりとし、別紙で説明してもよい。

コメント[N7]: 許可日以降の日付、または、許可日以降と記入する。

コメント[N8]: 完了日とは設置等行為が完了した日のことをいう。(※仮設工事の場合の撤去日ではない) 行為の完了した場合は速やかに完了報告書の提出を行う必要がある。

コメント[N9]: 本申請(工作物新築)と一連性がある、自然公園法上の別の申請要件に該当する行為(土地形状変更)については、備考欄に「付随工事の(行為名)についても併せて申請する」と明記した上で、コメント[N0](4)にある書類を添付することで、申請を一本化することができる。

(備考) 1 氏名(法人にあつては、代表者の氏名)を自署する場合においては、押印を省略することができる。

[N10]

2 備考欄には、他の法令の規定により当該行為が行政庁の許可、認可その他の処分を必要とするものであるときは、その旨を記載すること。

コメント[N10]: (参考) 該当する可能性のある行政庁  
・林野庁中部森林管理局木曾森林管理署  
・長野県木曾地方事務所各課(林務課等)  
・所在地の市町村 等